

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

- | | | |
|----|----------------|--------|
| 1. | 学校教育学部・学校教育研究科 | 研究 1-1 |
| 2. | 連合学校教育学研究科 | 研究 2-1 |

学校教育学部・学校教育研究科

I	研究水準	研究 1-2
II	質の向上度	研究 1-2

I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 研究活動の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、平成 18 年度から研究活性化を目指し、教育組織とは別に 5 つの学系からなる研究組織を構成している。科学研究費補助金の採択、奨学寄附金の受け入れ、共同研究・受託研究の受け入れは、相当数ある。研究資金の獲得状況については、平成 19 年度における科学研究費補助金の採択件数は 14 件、採択金額は 3,231 万円となっていることは、相応の成果である。

以上の点について、学校教育学部・学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、学校教育学部・学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 研究成果の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究成果の状況」について、学校教育学部・学校教育研究科において、教育・心理、特別支援教育をはじめ、人文・社会、自然さらに保健・体育、芸術の各分野で相応の優れた成果を上げている。学術面では、学術論文等に関して優れた水準のものが少なからず認められることについては、高く評価できる。社会、経済、文化面では、人形演劇における日米共同の創作活動、音楽に関する優れた啓発活動、授業改善を目指した執筆等をはじめとして、多くの研究成果が社会に有益な影響を与えていることなどは、相応の成果である。

以上の点について、学校教育学部・学校教育研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、学校教育学部・学校教育研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は2件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。

連合学校教育学研究科

I	研究水準	研究 2-2
II	質の向上度	研究 2-2

I 研究水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 研究活動の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究活動の実施状況」のうち、研究の実施状況については、プロジェクト研究をはじめとして活発な研究活動をしていることが窺え、学術論文等に関して優れた水準のものが少なからず認められる。研究資金の獲得状況については、科学研究費補助金が平成19年度において採択件数が319件、採択金額は約5億2,456万円となっていることなどは、相応の成果である。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究活動の状況は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 研究成果の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「研究成果の状況」について、連合学校教育学研究科において、教育・心理、特別支援教育をはじめ、人文・社会、自然さらに保健・体育、芸術の各分野で相応の優れた成果を上げている。学術面では、西行の和歌の世界、歴史教育内容改革研究、日本における美術教育の方法的課題等の様々な分野で高く評価され、関連学会等から受賞されるなどの優れた研究成果を上げている。社会、経済、文化面では、子どもの発達におけるテレビ・ビデオの影響に関する研究、人形演劇における日米共同の創作活動、音楽に関する優れた啓発活動等をはじめとして、多くの研究成果が社会に有益な影響を与えていることは、相応の成果である。

以上の点について、連合学校教育学研究科の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、研究成果の状況は、連合学校教育学研究科が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している

当該組織から示された事例は1件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」と判断された。

